

DT-9700 媒体仕様書

Rev. 1.02

カシオ計算機株式会社

本書は、DT-9700において使用可能なプリンタ記録紙の媒体仕様書です。

本書において示されたガイドに準じ、顧客の要望に合った用紙を制作する事が可能です。

本書ではガイドラインとあるが、製品の特性上、本来の性能品質を引き出す為に各種寸法に従う必要があります。

その上で、ユーザー要望によってプレ印刷の付加や、マーカー位置、サイズの変更等により、印字開始位置を任意に変更する事が可能になります。

尚、本書で示す推奨紙以外の使用は、製品寿命・印字品質などに悪影響を及ぼす恐れがあります。

目次

1. 推奨用紙一覧	2
2. 作成ガイドライン	3
2 - 1. 1Pロール紙	3
2 - 2. 2P単票紙	5
2 - 3. ラベル紙	6
3. 取り扱い注意事項	8
最終頁	9

1. 推奨用紙一覧

DT-9700におけるプリンタ印字用の推奨紙は以下の通りです。

1P用紙(ロール紙)

1) 三菱製紙製 F - 200U9W6(普通紙)

・ロールサイズ: 外径44mm(最大値)、内径8mm(コアレス)

2) 三菱製紙製 HS360(保存紙)

・ロールサイズ: 外径44mm(最大値)、内径8mm(コアレス)

3) 三菱製紙製 AFP235(高保存紙)

・ロールサイズ: 外径44mm(最大値)、内径8mm(コアレス)

4) 国際チャート ODT70TC - RAK(普通紙)

・ロールサイズ: 外径44mm(最大値)、内径8mm(コアレス)

2P用紙(単票紙)

1) 王子製紙製 TLC00(ノンバックカーボン)

・用紙長: 300mm以下

ラベル紙(ロール形状)

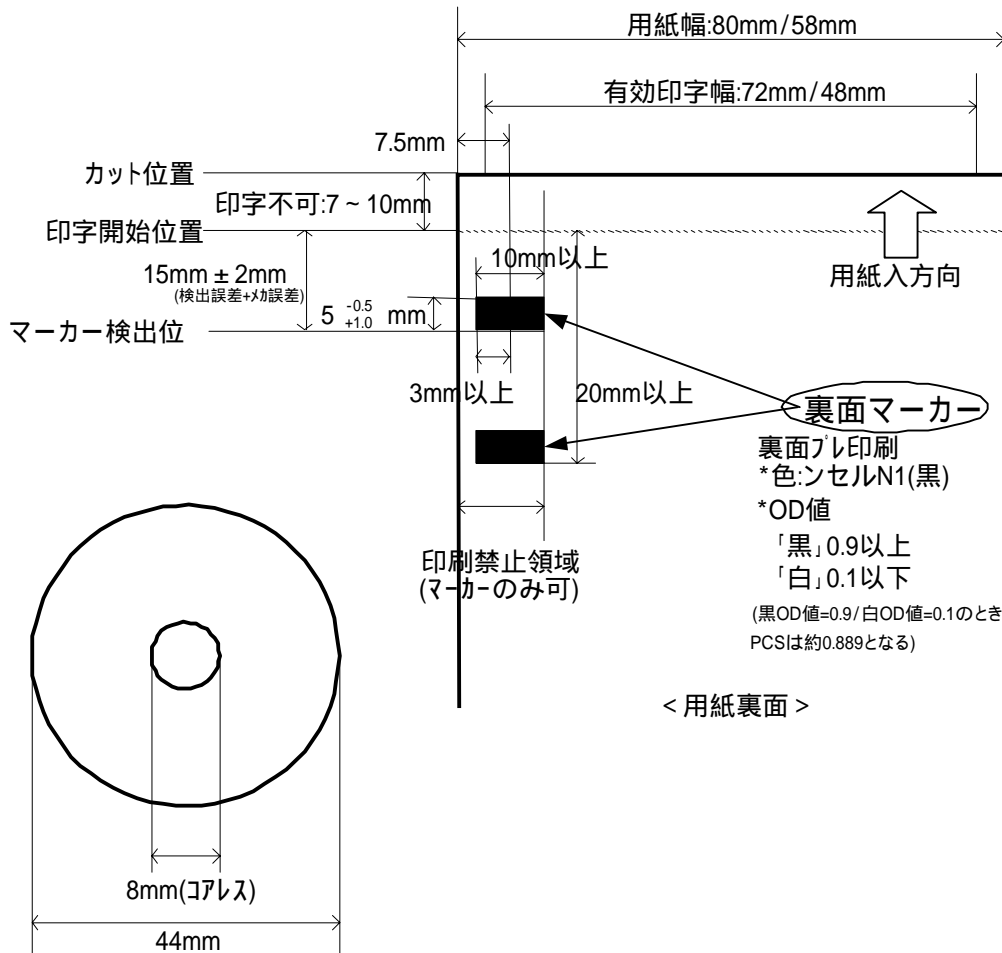
1) 日本製紙製 HG56S

・用紙サイズ: 外径44mm(最大値)、内径25mm(コア付き)

2. 作成ガイドライン

2 - 1. 1Pロール紙

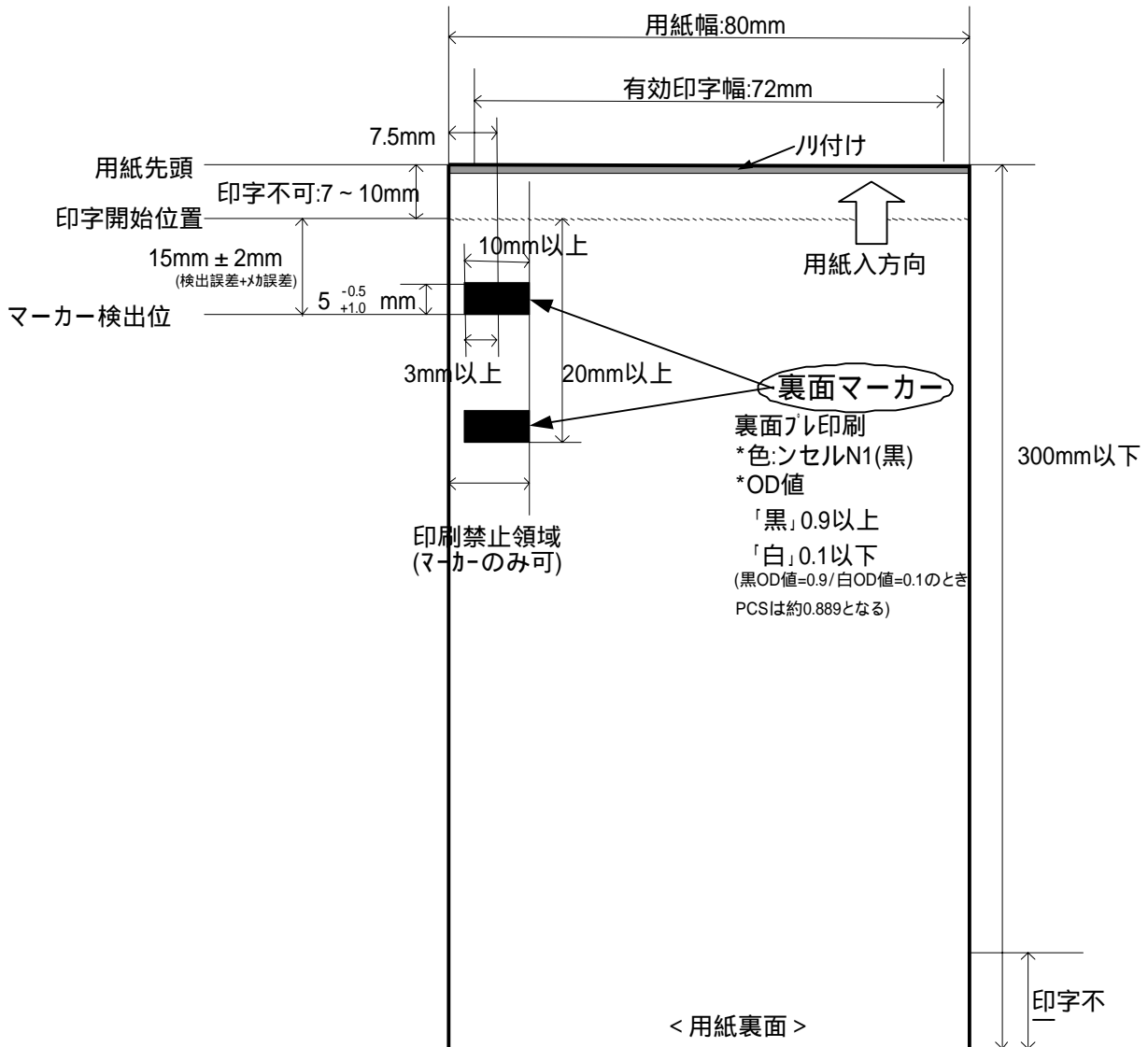
- 1) 推奨紙
 - 三菱製紙 : F-200U9W6(普通紙)
 - 三菱製紙 : HS360(保存紙)
 - 三菱製紙 : AFP235(高保存紙)
 - 国際チャート : ODT70TC - RAK(普通紙)
- 2) 用紙寸法 下図参照
- 3) 印字ズレ範囲 横方向: $\pm 1\text{mm}$ / 縦方向: 累積精度 $\pm 2\%$
- 4) 裏面マーカー 裏面マーカーを使用する場合は、用紙裏面(非感熱面)に下図の指示に従い黒色印刷を行う。



- 6)特記事項
- ・ 巻きの強さは巻き上がり時点で容易にずれないこと。
 - ・ 耳破れの無いこと。
 - ・ 汚れ、異物の混入の無いこと。
 - ・ 用紙一巻き中に継ぎ目の無いこと。
 - ・ 巻き終わりは180度カットし、一箇所テープ止めとする。
 - ・ 巻き始めはフリーとし、折れが無いこと
 - ・ 感熱面を外側とする。
 - ・ 用紙終端のエンドマークは任意とする。

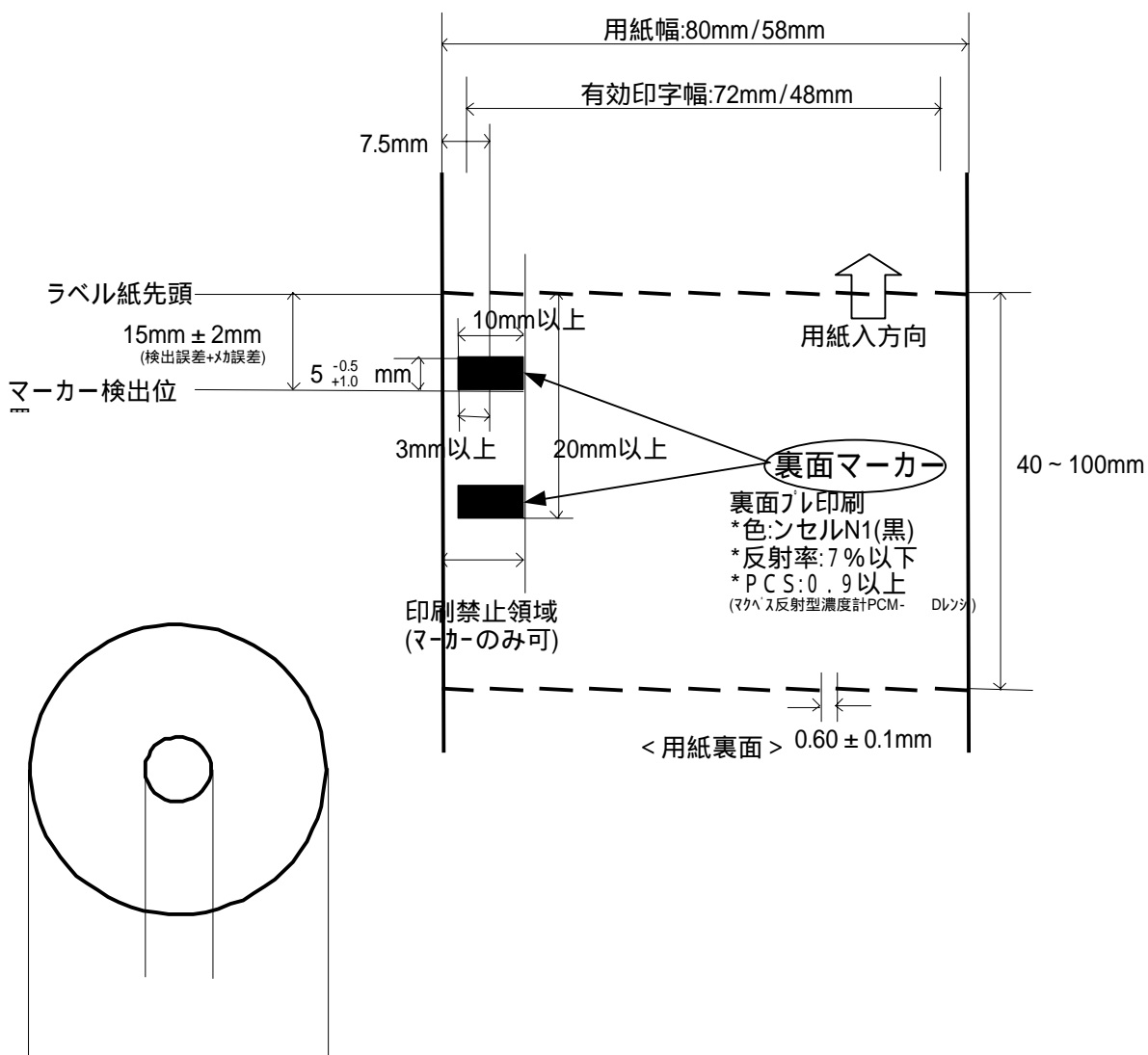
2 - 2 . 2P単票紙

- 1) 推奨紙 王子製紙 : TLC00(ノンバックカーボン)
- 2) 用紙寸法 下図参照
- 3) 印字ズレ範囲 横方向: $\pm 1\text{mm}$ / 縦方向: 累積精度 $\pm 2\%$
- 4) 裏面マーカー 裏面マーカーを使用する場合は、用紙裏面(非感熱面)に下図の指示に従い黒色印刷を行う。
- 5) 挿入側用紙の上下紙をノリすること。
- 6) 特記事項
 - ・ 耳破れの無いこと。
 - ・ 汚れ、異物の混入の無いこと。
 - ・ 感熱面を外側とする。
 - ・ 用紙挿入口のノリ付けは容易に剥がれないこと。



2 - 3 . ラベル紙

- 1) 推奨紙 日本製紙 : HG56S
- 2) 用紙寸法 下図参照
- 3) 印字ズレ範囲 横方向: $\pm 1\text{mm}$ / 縦方向: 累積精度 $\pm 2\%$
- 4) 裏面マーカー 裏面マーカーを使用する場合は、用紙裏面(非感熱面)に下図の指示に従い黒色印刷を行う。
- 5) ミシン目 ミシン目はラベルのみに入れ、台紙は切らないこと。



- 6)特記事項
- ・ 巻きの強さは巻き上がり時点で容易にずれないこと。
 - ・ 耳破れの無いこと。
 - ・ 汚れ、異物の混入の無いこと。
 - ・ 用紙一巻き中に継ぎ目の無いこと。
 - ・ 巻き終わりは180度カットし、一箇所テープ止めとする。
 - ・ 巻き始めはフリーとし、折れが無いこと
 - ・ 感熱面を外側とする。
 - ・ 用紙終端のエンドマークは任意とする。
 - ・ ミシン目はセンチ振り分けとする。
 - ・ 感熱面にミシン目のバリを出さないこと。
 - ・ タック加工する場合は、接着剤が記録紙端面よりはみ出さないこと。
 - ・ タック加工の場合、シール間隔を2mm以下7mm以上にすること。

3. 取り扱い注意事項

DT-9700の推奨紙は感熱紙であり、その特性上以下に示す注意が必要です。
下記に一般的な注意事項を示します。

感熱紙(サーマル紙)は、60℃以上で自然発色する事があります。高温・高湿な場所での保管は避けてください。

保管は冷暗所とし、直射日光等に長時間当てないようにしてください。

長時間低温下に放置された用紙の場合、十分に発色しない可能性があります。

可塑剤を含んだプラスチックフィルム(塩ビ)やエステル系の消しゴムテープのノリなどで退色したり、有機溶剤やジアゾコピー紙との接触爪などの引っかきで発色する場合があります。

水、油、蛍光ペン、シャチハタインク等で退色する場合があります。

最終頁